

古文書勉強会

令和8年1月17日

半田市立博物館 専門員 柴田邦彦

江戸時代の古文書（近世文書）
を読み解くコツ

一つは、お金の単位、度量衡、干支、時刻、方角、数字、ひらがななどを覚える。

一つは、極端なくずし字を覚える。

一つは、辞書を使えるようになる。

本日は、この部分に30分ほど時間をかけたいと思います。

お金の単位と表現

金貨、銀貨、銅貨は別々に、それもことなつた表現をする。

金貨…一両(金37.5グラム)は四分(ブ)、

一分は四朱(シユ)

銀貨…金一両は銀六十匁(モンメ)、一匁は十分(フン)、

一分は十厘(リン)注…一匁は3.75グラム

銅貨(銭)…金一両は、六千文 従い、銀一匁は、銅貨(銭)百文、(一疋…イッピキの表現もあり…百文)

金銭の表現

代 金壹両貳分貳朱ト

銀三匁貳分八厘

銭二百文

すなわち、金貨と銀貨と銅貨は別々に表現される。

又、金貨と銀貨の記載の間に「ト」が記載られる。

度量衡

度…一町 $\parallel$ 十反、一反 $\parallel$ 十畝、一畝 $\parallel$ 三十歩、一步 $\parallel$ 十合
量…一石 $\parallel$ 十斗、一斗 $\parallel$ 十升、一升 $\parallel$ 十合、一合 $\parallel$ 十夕
衡…一貫 $\parallel$ 千匁、一匁 $\parallel$ 十分、一分 $\parallel$ 十厘、一厘 $\parallel$ 十毛

千支

十千

甲乙丙丁戊己庚辛壬癸

(読み)きのえ、きのと、ひのえ、ひのと、つちのえ、つちのと、かのえ、かのと、みずのえ、みずのと

十二支

子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥

年号の表現

寛政丙辰八年十二月十日 閏年は、閏八月と記載

時刻

夜0時九つ、2時八つ、4時七つ、6時六つ、8時五つ、10時四つ、昼0時九つ、2時八つ、4時七つ、6時六つ、8時五つ、10時四つ、

極端なくずし字

處^も然^れ相^た

所^も不^ふ節^{せつ}間^{かん}

春^{はる}候^{こう}有^あり

飛^と其^{その}江^え

者^{もの}奉^{ほう}置^ち

召^め取^と_ぬ儀^ぎ

申^{まう}年^{ねん}聞^{きこ}

衛^ゑ寺^{てら}北^{きた}

迄^{いた}就^す被^ひ

無^な常^{じょう}様^{やう}換^{かん}

用^{もち}等^{どう}而^に

辞書を使う、
漢字は偏や旁などの部品で出来ている。部品をみつ
けて辞書を引く。

採

採

徒

徒

蜜

蜜

節

節

燃

燃

天保三年

佛紀
牙
割
帳
道
一
孔
史
帳

丙戌年

送金之

一 帝乃命朕子孫世世守之
若其有違朕之命者
送之

一 帝乃命朕子孫世世守之
若其有違朕之命者
送之

一 帝乃命朕子孫世世守之
若其有違朕之命者
送之

一 帝乃命朕子孫世世守之
若其有違朕之命者
送之

一 帝乃命朕子孫世世守之
若其有違朕之命者
送之

一 帝乃命朕子孫世世守之
若其有違朕之命者
送之

一 何より候とてさうな
氣持はなす候は
てなす

一 何より候とてさうな
候はなす候は
てなす

一 何より候とてさうな
候はなす候は
てなす

一 何より候とてさうな
候はなす候は
てなす

一 何より候とてさうな
候はなす候は
てなす

一 何より候とてさうな
候はなす候は
てなす

万々村役方より
送られまじ

一七乃乃手書と云ふ
事なれども送られまじ

一八乃乃手書と云ふ
事なれども送られまじ

一九乃乃手書と云ふ
事なれども送られまじ

二〇乃乃手書と云ふ
事なれども送られまじ

二一乃乃手書と云ふ
事なれども送られまじ

長安南門外修志

一、長安南門外修志之所當經
所當經修志者娘才三歲
長安南門外修志

四、長安南門外修志

一、長安南門外修志之所當經
所當經修志者娘才三歲
長安南門外修志

一、長安南門外修志之所當經
所當經修志者娘才三歲
長安南門外修志

一、長安南門外修志之所當經
所當經修志者娘才三歲
長安南門外修志

江戸の江戸前江戸前
大工の江戸前江戸前

江戸前

江戸の江戸前江戸前
大工の江戸前江戸前

江戸前

江戸の江戸前江戸前
大工の江戸前江戸前

江戸前

江戸の江戸前江戸前
大工の江戸前江戸前

江戸前

江戸の江戸前江戸前
大工の江戸前江戸前

江戸前

海
山
書
卷
之
一
上